



コトリのオカゲ
presented by No6.base
2015 summer

Kotori-no series : 4

コトリのオカゲ

LoveLivel! fanbook presented by No6.base

for Adult Only

前回の「コトりの●●●」

コトりのシリーズ：1 「コトりのクスリ」



南ことりの母が音ノ木坂学院の近くに仕事部屋として借りていたマンションの一室では、艶やかな声が響き渡っていた。ことりの母は、ある男とのセックスを、ただただ楽しんでた。当初、学校経営を立て直すという目的はあった。今では、娘や娘の友人たちのおかげで、事なきを得ていたはずなのだ。しかし、この男のモノが忘れられず、女としての悦びをもつと感じていたい気持ちを捨てられずにいた。

一方、南ことりも、そのマンションを衣装保管兼作業部屋として利用していた。近頃、母から急に部屋を使わないで、と念押しされるようになったのだが、利便性から、母に内緒で度々訪れていた。

その日も学校帰りに訪れたことりは、母の今まで聴いたことのないような声を耳にする。母の呼びかけに反して、恐る恐るその部屋に入ると、そこには知らない男と淫らなことをしている母の姿があった……。あまりの事態に、ことりはその場から逃げ出してしまふ。

次の日、突然ことりの元に、あの男からの電話が鳴る。

初めて母が学校のために身売りをしていたことを知り、動揺することりに男は無慈悲にも言葉を続ける。

「今この事が世に出たらキミたちやお母さんの努力は全て台無しだ」

ことりは、脅されるままに男のもとに訪れる。そして男は、ことりの優しさを利用し、体を貪り、ことりを快楽の虜にしてしまふのであった。

コトりのシリーズ：2 「コトりのトビラ」



あの男との関係は続いていた。

ことりは、男のモノを受け入れ、よがり悦ぶ日々を過ごすうち、淡い恋心を抱き始める……。そんな気持ちとは裏腹に、ことりは男のことを何も知らない寂しさを抱えていた。

そんな中、UTXでのARRISEとのラブライブ予選を終えた後、事は起こった。待合室で、あの男がことりの目の前に現れたのだ。ことりは、そこで初めて男がラブライブの運営事務の人物である事を知る。

不安を抱えたまま男の指示に従い、ライブ発表したステージに向かうと、そこにはなんと男達と淫らに関係しているARRISEの姿があった。ARRISEは身売りをして人気を勝ち取っていたのだ。

男は、ことりに芽生え始めた想いを踏みこむようにして、ことりを蹂躪し、教えこんでいく。

つまらない恋心を言い訳にするんじゃなく、本能にしたがいなよ、と。

ただ快楽を欲するがためだけに、男達を受け入れ続けることり。誰のモノでもいい、ただ気持ちよくなりた。スクールアイドルを続けられないかもしれない。でも構わない。アレが欲しい。

事が全て終わり、静寂の中……

待合室での一件に不安を覚えた園田海未は、ステージ上でことりのあられもない姿を目撃してしまふ……。

ことりのシリーズ：3 「ことりのハウシ」



ことりの大変な事態を知ってしまった海未は、大会の近いメンバーに頼ることも出来ず、すぎるような思いでことりの母である理事長に相談を持ちかけた。あまりの事実に、ことりの母は驚きを隠せなかったが、すぐに自身の過ちが原因であることを察し、悔やみ、娘を助ける決意を固めたのであった。

そんな中、ことりが、あの男により連れてこられた部屋には、メイド喫茶で勤めていた頃のファンが大勢集まっていた。

男がパーティーの始まりの挨拶をすると同時に、今まで暖かい目をしていたファンの男達の目は刹那、ケモノのそれに変わり、ことりへ己の性欲を曝け出すのであった。

あろうことが、ことりも、皆に迷惑をかけてしまっている負い目から、目の前の人だけでも幸せになってくれる喜びで、進んで奉仕を始めてしまう。

皆を笑顔にするのが、ことりの勤め。アイドルとしての勤めなのだ、と。

取り繕った言い訳で、今の自分を肯定したことりの奉仕活動は止まらなかった。数々のファンという名の男達の精液を受け入れ、お尻の穴も許し、ことりは順調にセックスの虜に開発されてしまうのであった。

ちょうどその頃、ことりの母は、あの男がいるというUTXまで来ていた。

久しぶりに会う男に対して、娘のことを強く問いただすも、はぐらかされるままに案内された一室では、母親が知るはずもないであろう娘の姿が大画面に映されていた。

そして、男はニヤついた顔で言うのであった。「人気を博したスクールアイドルがAVデビュー…これは売れますよ」と。

ことりは僕今の衣装に衣装チェンジをし、

母はそれ僕の衣装に身を包まされ、

表には出るはずのないラブライブのステージが、今始まるうとしていた…。



■ 男

ラブライブの運営をしている。自身の権力を笠に、スクールアイドル達と関係を持っている。



■ 園田海未

ことりの異変に早くから気付いていた。ことりのあられもない姿を目撃してしまう。



■ ことりママ

学校経営を立て直すため身売りをしていた。ことりに行為中の現場を目撃される



■ 南ことり

母の身売りのことで脅され、快楽の虜になってしまう。



μ's...

ミュージック
スタート!!

なあんて……!



向こうは盛
り上がって
ますねえ
こちらも
負けてられ
ないな





あんな姿を
見せてしまつて：
ことりにどんな風に
接したら：

お母さん

洗い物
くらいに
ことりに
任せてよ

いつも遅くまで
お仕事
頑張つてくれて
るんだから



ほらほら
替わつて！



え……ええ
ありがとう

むううう
この油污れ
しぶといぞう

えい！

これは
どうだっ！



娘は
こんな
気を使つて
くれるのに

私ときたら：

もう
あんなこと
絶対に
しないからね：

約束する





ダメな私を
救ってくれて
ありがとうね

ことりの
おかげよ…



…うん



あのとき
ことりはいつたい
どれだけの想いで

たくさんものを
一人で抱えて
いたのだろうか…

私は
そんなことも
気付かず
一人安心して…

考えるだけで
本当に
嫌になる



これに耐えれたら
娘さんは
解放しますよ

こちらも
ビジネスですから

これ以上
邪魔されるのも
手間なんですね

ちゃんと
約束は
守りますよ

…分かりました



さてさて…
衣装だけじゃ
面白みに
かけますからね

親として
娘に良いところも
見せたいでしょう？

…
何よ…？

静かにしてて
くださいよ

手元が狂って
しまったら
大変だ

心配されなくても
分かってるわよ

クチュクチュ
ジュジュ

んっ...
ララララ
一滴残らず
入れますよ

もったいない
ですからね

ズンズン
ズンズン

べ...
別に何てこと
ないわよ

この薬
まがいもの
なんじゃないの？

左右比べてみても
変わりませんか？

ひゃああう!!

そうですか

ズンズン
ズンズン
ズンズン



どうやら私以外も調べてみる必要がありそうだ

私の見立てだと違うように思うんですけどねえ



もうちょっと丹念に調べてみますね

んうう!!



あれえ? さわ

こちらだけ反応違いますよね?



ど...どうかしら?



嘘よ...

あんな薬なんかで...

こんなに敏感になるなんて

大丈夫

娘のためよ! これくらい耐えられるわ!

こちらに
大切な上客が
お出迎えして
ますよ！

薬が体全体に
回って来た頃か

と
はあ…

はあ…

この凄い
臭いは何…!?

う…

薬のせいで
鼻まで敏感に
なっているの…

ほら！
おっぱい
使っ…！

臭いだけでも
感じてしまう
のに…

擦るだけで
体全身が快感に
震えているのが
分かる



だめ…
耐えるのよ



うおお！
そうそう！

すげえ
気持ち良いよ！



年増おっぱい
むっちや
やわらけえ

こんなことで
屈しないん
だから…



こんな…

は…っ

は…っ

は…っ

いふ…



んう

あ…っ

は…

んう

んう

んう

んう





あ...!!
あんな破廉恥な...!!



事の一部分始終を
撮影するようにな
言われましたが...



こっそり理事長に
着いて行って



あなた
園田海未さんね



し...!!
しかしの
ための
ちゃんとな
向き合わ
なければ!!



やっぱり
無理です!!



はぁ...
ことりちゃんのお尻
プニプニモチモチで
気持ちいい...

びゅ



だ...だ...だ...
が...我慢...
出来なくて...

恋人との
ピュアなキス
ができたかっ
たんですね？

もぉ...



お尻ばかり
恥ずかしいよお

ああ...!!
やわらかい...
やわらかいよ!

うう...
そんな...
激しくう...っ

ひゃうう!



でも...
ことりも
キミと一緒に...
かも...

我慢
出来ないな...

おおおおおお!!

ことりちゃん あああああああん!!

あーん
すーい
激し...
ひゃうう



奥...
奥すーいよう

おちんちん♡
いっぱいくるうう



ことりちゃん!

ことりちゃん!



僕……僕もう
限界だよ！

あ♡
いいよ
来て

膣内に……！
膣内に
出すよ！

すーっおい
ここのりの膣内……
ドクドクしてて
あったかいよ♡

ああああんう♡♡

ジュンジュン♡♡♡
は……
ジュンジュン……

は♡

は♡
ジュンジュン♡

んう



はい……

はい……！！
わかりました！



壁の前……？



ことりちゃん
こっちに
来てくれない
かな？

……え？
あの……？
どこに？

早く！







ちんこが大好きで
しょうがない

おめ♡
おめ♡
おめ♡

おめ♡

おめ♡

おめ♡

おめ♡

おめ♡

おめ♡

おめ♡

そのように
出来てしまっている
だけだ

本人の意思とは
関係ないのさ



どうして...?

もうしないって
約束したのに



!!

キミのお母さんは
元々そういう
性質なのさ



それと...

アイドルで
あることにいちいち
拘ってるよう
だけどさ...

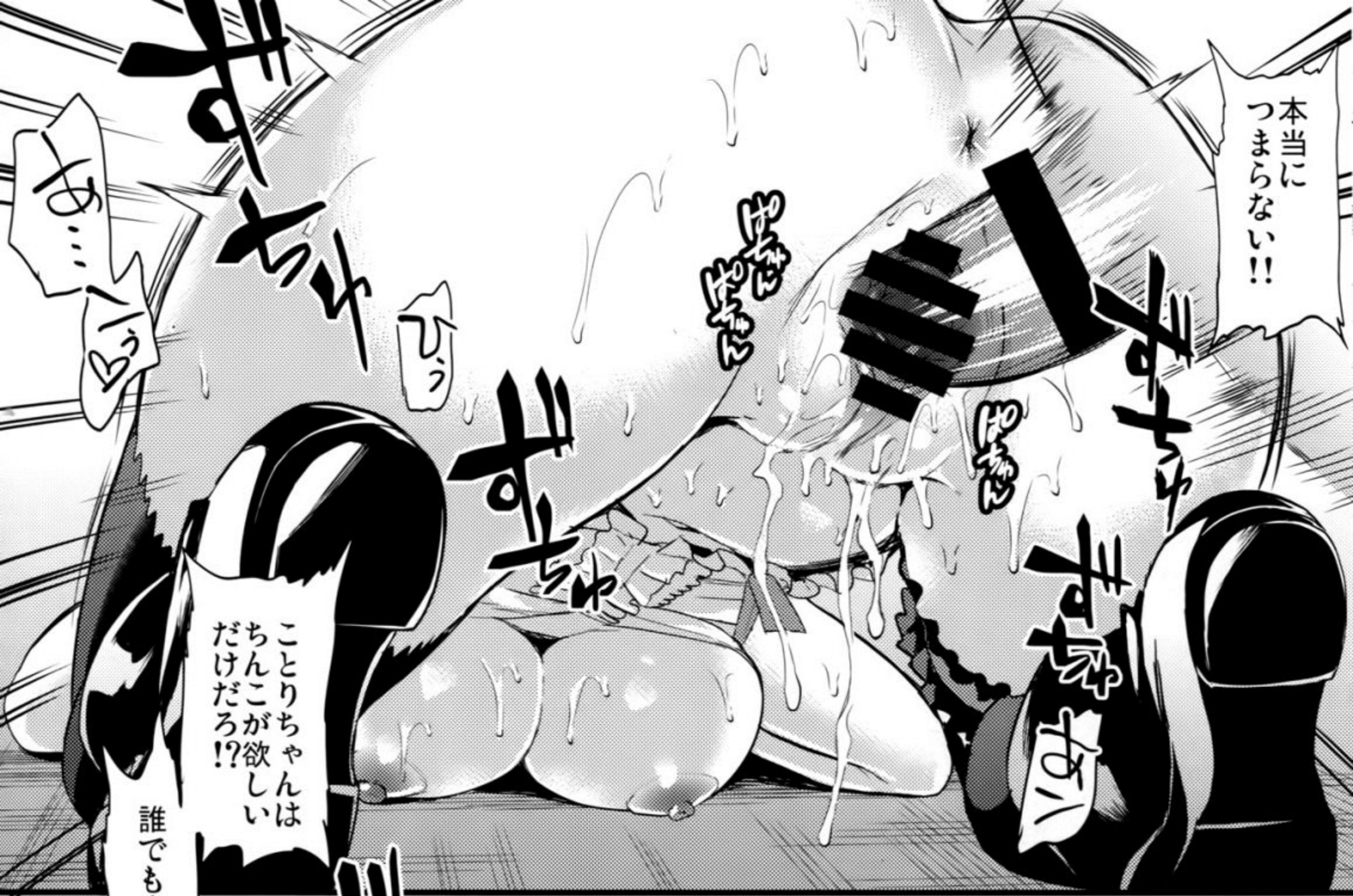
キミの居辛くなった
スクールアイドル
μsとの繋がりが
少しでも欲しかった
のかな?



ことりちゃん

それは
キミも
同じだよ

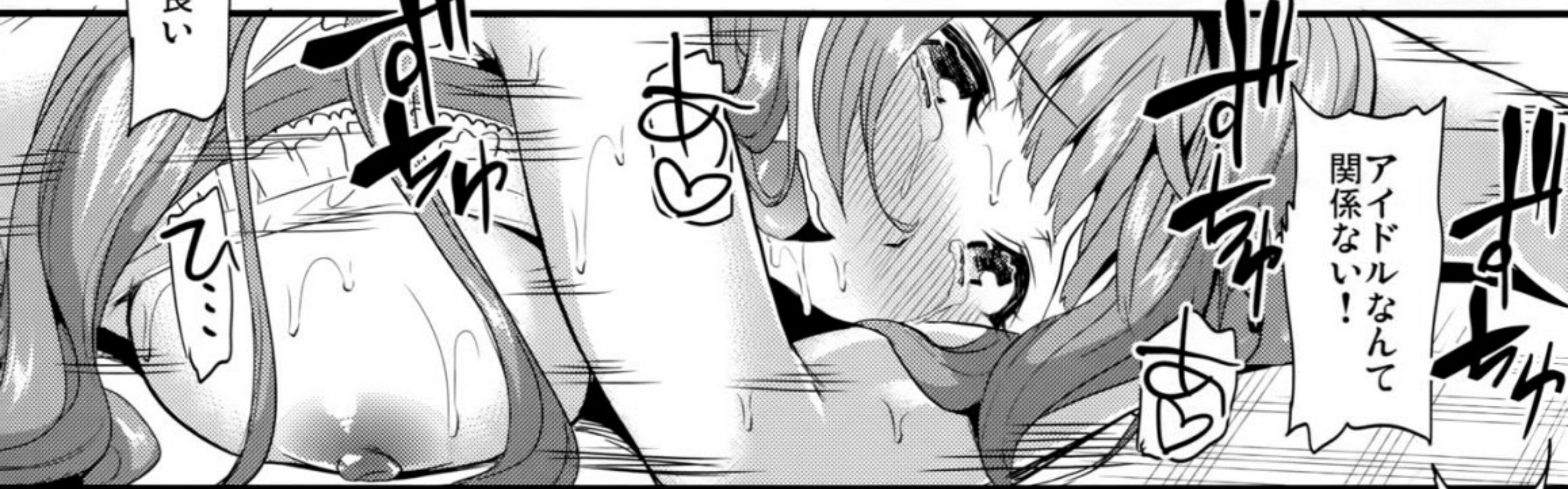
おめ♡



本当に
つまらない!!

ことりちゃんは
ちんこが欲しい
だけだろ!?

誰でも良い



アイドルなんて
関係ない!



キミがファンという
彼らだってそう!

ああ...
もう我慢
できねえ!

ことりちゃん!
もっと口で
吸い付くように
頼むよ!



うおお！
すげえ
バキエーム！！

ことりちゃんの
フェラチオ
最高だぜ！

ん……♡

ん……♡

あ♡



そんな……
ことりは……

本当に
母親譲りの
良い娘だよ

そうやって
素直に従うのが
キミの
良いところだ







はっはっは♡♡♡♡♡

はっはっは

はっはっは

はっはっは

はっはっは

はっはっは

だめっ♡

そんな...っ

あの薬本当
なんだ...!!

すごい!!
僕のでこんなに
乱れるなんて!

あ♡

何これえ

な...

いつもより...
敏感になって...

変...
へんう

だめっ

だめええええ♡♡♡

はっはっは♡♡♡♡♡

はっはっは♡

はっはっは♡

はっはっは

はっはっは

はっはっは

はっはっは

はっはっは

はっはっは

あ……ッ
あッ
ああ♡

あううん♡

こんな……
おかしいの……

ことり……
わかんない♡

あ……♡
へうう

若いだけあって
お母さんより
ずつと薬の
効きが早いねえ……



ことりも
一緒に
気持ち良く
なりましょお

は……♡

は……♡

もう……
もう……
無理♡

んあう

ことりの
好きに
なるのよお

心のままに
任せなさい











えっち
すきい...♡

は♡

は♡

は♡

おちんちんう...♡

ことり...♡

ブル

ブル

ブル

ブル

♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡



うわあ

ことりちゃんの
おまんこ
ガバガバだよ

こりや
もうユルユルに
なっちまったかな？

まあ
チンコ入れれるなら
どうでもいいだろ

ブル
ブル
ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル



ほら
ことりちゃん
立って

まだ
終わらない
からねえい

あ...
んう...

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル



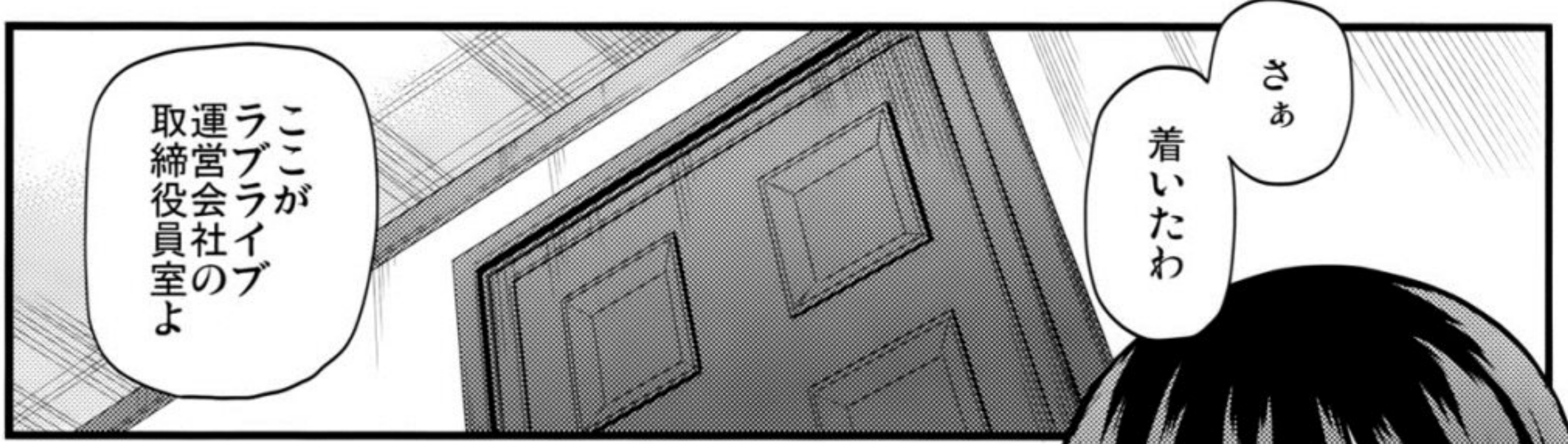
驚きました

まさか
ツバサさんが
協力してくれる
なんて

私も
いい加減
彼には
愛想尽きて
いたから

一応
情も恩も
あるし

音ノ木坂の
理事長さんに連絡
受けたときは少し
迷ったけどね



ここが
ライブ
運営会社の
取締役役員室よ

さあ

着いたわ



それから私は
その顛末と
その証拠が
あて話とを
全話しました

予想に反して
話は順調に
進み：



じゃあ
後は頑張る

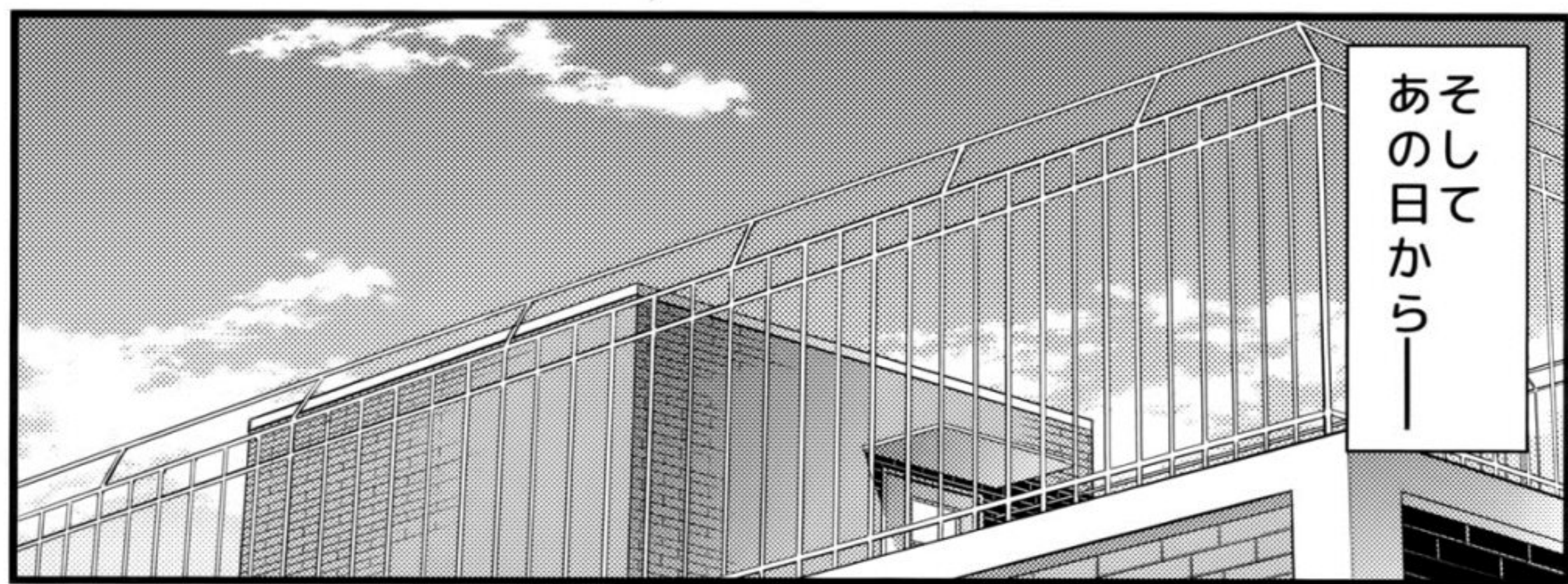
南さんの
親友さんの



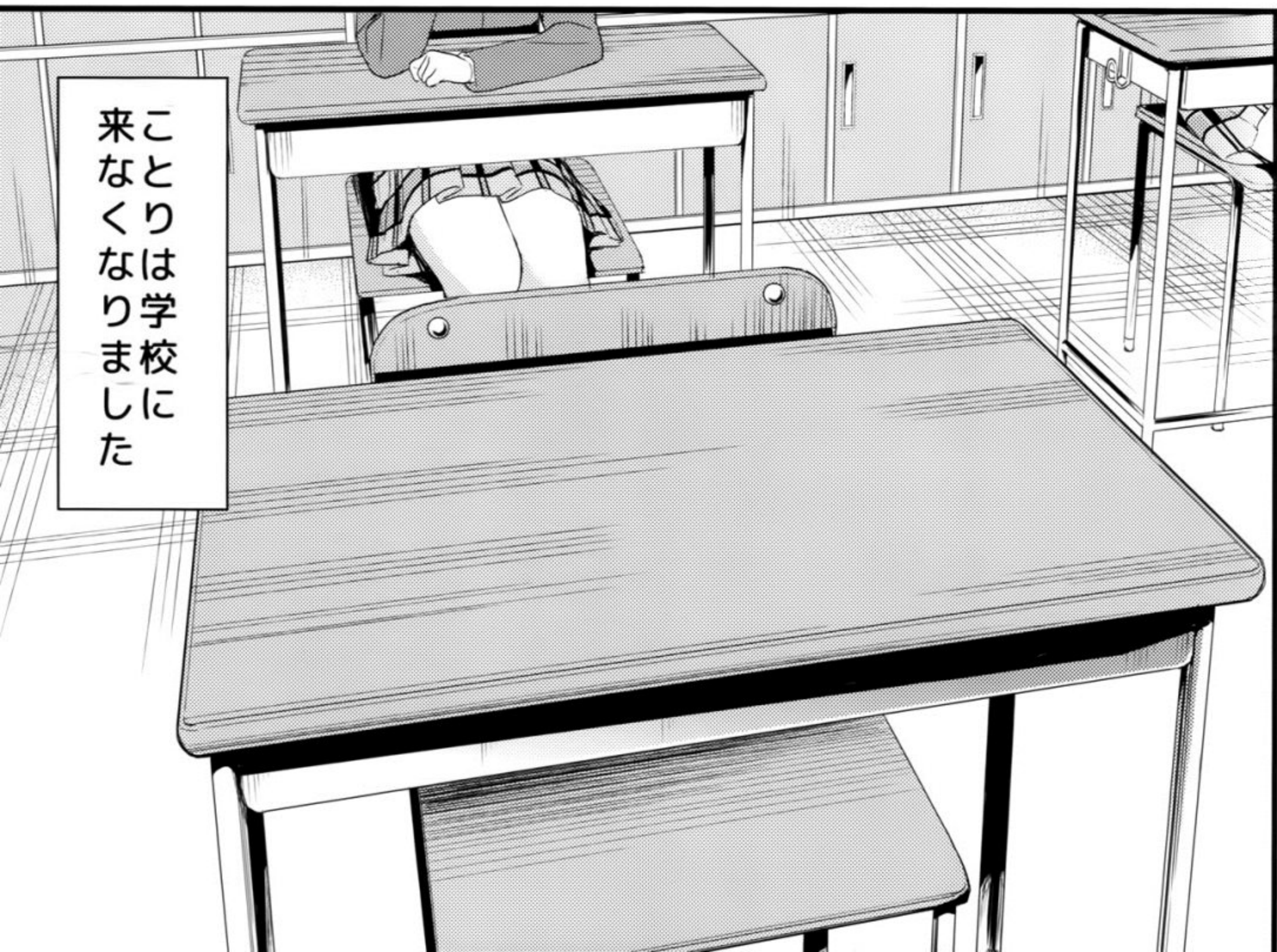




これで彼女が
解放されるとは
限らないがね…



そして
あの日から—



ことりは学校に
来なくなりまし
た

あとがき

はじめまして、またはお久しぶりです。キチロクです。
ここまでお読み頂き、ありがとうございました！

この度は、ことりちゃんについて、ことりママまで大変失礼なことをしてしまい、すみませんでした…！

今までで一番グスイことになってしまったような気もするのですが、とりあえず1冊目のママパートを気に入ってくださっていた方にはご満足頂けたでしょうか…？
ことりママの需要をピピピと感じたので、一応、ことり本の括り中ですが、ママパートもページ割いてみました。

そのときの思いつきで描いてる部分も多いのですが、今回の最後のコマの展開は比較的初期の段階からやりたかった部分だったので、個人的にはようやく描けて満足です。

そして今回、まさかことり本の流れでギャグ顔を描けるとは思いませんでした。。海未ちゃんは偉大だ、劇場版でも最高に輝いていたし。

そうそう、劇場版！見てきましたよ！公開日に！
まだ見ていない方もいらっしゃると思いますので、感想は簡潔に一言ですが、「ありがとうラブライブ」そんな想いが、見たあと自然に湧いてくるような内容でした。
ありがとう…そして、これからもよろしく願います。

最後に、終盤土壇場を救ってくれた鳳先生には感謝感謝です…！原稿のお手伝いしてもらうの、人生で二度目ですよ。。

それでは、今回の続きは8月のコミケを予定しています。
たぶん次で完結です。きっと… 終わるのかな（ホリ

では、またお会い出来るのを期待しつつ…！

2015.6月某日 キチロク

奥付

誌名 コトリのオカゲ

発行 第6基地

発行人 キチロク

発行日 2015/06/21

印刷 ねこのしっぽ

HP <http://kichirock666.seesaa.net/>

mail yoshinoya-nami@hotmail.co.jp

■無断転載、ネットアップロード、
18歳未満の閲覧を禁止します。

